

ファイナルレポート

(日本語抄訳版)



2026 年 10 月 8 日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

wire & Tube China2026

盛況のうちに閉幕、産業の高度化を推進し、業界の新たな機会を創出

2026 年 9 月 21 日-24 日、Shanghai New International Expo Centre(SNIEC・上海)で開催された、wire & Tube China は盛況のうちに閉幕しました。E1～E7 および W1～W3 の計 10 ホール、総展示面積 115,000 m²を舞台に開催された両展には、28 の国・地域から約 1,600 社が出展しました。また、wire China に 44,920 名、Tube China に 13,406 名、合計で 120 の国・地域から 58,326 名の来場者をお迎えしました。全来場者に占める海外からの来場者の割合は 16%に達し、国際的なプレゼンスと業界への影響力をさらに高めた両展は、ワイヤー・ケーブル・チューブ・パイプ業界におけるグローバルな交流とビジネス連携の拠点としての役割を一層強化しました。

wire China ハイライト

バリューチェーン全体を網羅する包括的な展示 | 業界の全領域へワンストップでアクセス

実際の製造工程の流れに沿って、ケーブルリール、試験・計測、スマートマニファクチャリング、完成ケーブル、線材製品、金型加工、原材料・副資材などの主要分野ごとに専用ゾーンが設けられ、これらのゾーンを通じて、ワイヤー・ケーブルのバリューチェーン全体にわたる最先端技術や革新的な成果が体系的かつ包括的に紹介されるとともに、国内外のバイヤーに対して、効率的かつワンストップでの調達およびビジネスマッチングの機会が提供されました。

50 以上の業界イベント | 知見と実用的な応用の融合

展示会と並行して 50 以上のフォーラム、技術セッション、業界会議が開催され、ワイヤー・ケーブル分野の最前線にある幅広いトピックが取り上げられました。その内容は、業界向けの金融ソリューションや材料・製造設備の最新動向から、デジタル・インテリジェント生産、金属導体向けの高度な潤滑技術、スマートな試験・計測、環境に配慮した製造（グリーン・マニファクチャリング）、海外市場への進出戦略に至るまで多岐にわたりました。

wire China では、学術研究とワイヤー・ケーブル業界のニーズを結びつける新たな取り組み「Cable X Plan」も始動しました。大学と企業の連携強化を目指すこのイニシアチブでは、ケーブル製造プロセスのシミュレーション、先端材料、インテリジェント検査、デジタルプラットフォームなど、6 つの産学連携プロジェクトが紹介されました。これらの研究プロジェクトを実際の産業現場と直接結びつけることで、「Cable X Plan」は共同イノベーションの新たな機会を創出し、有望な研究と業界の実践的なニーズを橋渡しする

とともに、ワイヤー・ケーブル業界の高品質な発展に新たな弾みをもたらしました。

展示ブースから生産ラインへ | 「工場見学会」で先端製造の現場を体感

今年の wire China では、展示会場の枠を超えた業界交流の場として「Factory Open Day(工場見学会)」が実施され、参加者は主要メーカーを訪問し、先端的な生産現場を実際に見学する機会を得ました。2つの専用ルートが用意され、1つは、スマート機器やデジタル化された生産ラインを見学し、デジタル技術やインテリジェント技術が製造のあり方をどのように変革しているかを確認しました。もう1つのルートでは、ワイヤー・ケーブル産業の主要な集積地を訪れ、設備製造や先端材料の研究開発を行う有力企業を視察しました。

本プログラムは、業界全体にわたり、より深い技術協力やより広範なビジネス連携を実現する新たな可能性を切り開きました。

デジタルツールと AI を活用した、よりスマートな来場者サービス

wire China は、次世代のスマートかつパーソナライズされたサービスを導入し、来場者の体験をさらに向上させました。

インテリジェントナビゲーションマップは、展示会全体を来場者の指先で操作できるようにしました。中国語と英語に対応し、様々なデバイスからアクセスできるこのデジタルマップは、出展者やブースを簡単に見つけ、目的地を保存し、自分だけのルートを作成でき、展示会を効率的に巡ることができました。

公式 AI アシスタント「Keno」は、展示会情報へのアクセスを容易にするもう一つの便利な方法を提供しました。多言語対応の AI を搭載した Keno は、出展者や製品情報、ビジネスマッチング、イベントスケジュール、会場でのサポートなど、主要なサービスを網羅しました。

Tube China のハイライト

新素材と新技術が注目を集める | 産業高度化を推進する新たな勢い

Tube China では、チタン、マグネシウム、アルミニウムなどの高性能合金のチューブ製造への応用を重点的に紹介する「非鉄金属・高性能合金」専用ゾーンを新設しました。同時に、「熱処理設備・技術」ゾーンと「切断・レーザー切断技術」ゾーンもさらに拡充し、専門家の方々にチューブ製造の未来を形作る最新のプロセス、設備、材料へのアクセスをより充実させました。

業界イベントのダイナミックなラインナップ | チューブ業界の主要課題に取り組む

展示会と並行して、鋼管業界、海洋工学、自動車用途、グリーン・低炭素開発、海外市場といった主要テーマに焦点を当てた一連の専門フォーラムや業界イベントが開催されました。業界の専門家、企業関係者、関連団体が一堂に会し、技術革新と産業発展に関する知見を交換しました。

第3回中国国際鋼管会議

本会議では、産業ビッグデータ、ハイエンド開発、インテリジェント製造、海外市場、国際展開、グリーン・低炭素開発、ステンレス鋼管、都市地下パイプラインネットワークなど、幅広いテーマが議論されました。

天津鉄鋼産業ビジネスマッチング会議

本イベントでは、天津の鉄鋼産業クラスターの強みが強調され、技術革新、変革の成果、独自の地域ブランドが紹介されました。中国各地からバイヤー、業界専門家が集まり、天津の企業と交流し、産業協力に関する詳細な議論に参加し、技術情報を交換し、プロジェクトマッチングセッションに参加しました。

2026 年海洋エンジニアリング向けチューブ・パイプ・アプリケーション・フォーラム

「ブルーオーシャンにおける機会、深海における課題」をテーマに、Tube China と併催された本フォーラムは、海洋市場の動向、チューブ需要、認証制度、サプライチェーンの連携に焦点が当てられ、海洋エンジニアリング市場への参入を目指す企業に向けた実践的な道筋や戦略について議論が交わされました。

「世界溶接鋼管産業発展レポート」発表および鉄鋼業界における海外投資リスク管理セミナー

世界の溶接鋼管産業の発展と中国企業の海外展開に焦点を当てた本イベントでは、「世界溶接鋼管産業発展レポート」に基づき、業界の現状、貿易構造、将来のトレンドが検証されました。

2026 年自動車「グリーンドライブ」およびチューブ技術イノベーション・フォーラム

「低炭素化への転換加速、インテリジェント・マニュファクチャリングの推進」をテーマに、大手自動車メーカーの研究開発（R&D）専門家や産業バリューチェーンの主要企業が一堂に会し、高圧熱管理用チューブ、車体構造の軽量化チューブ部品、精密かつインテリジェントな製造プロセス、低炭素化への対応、国際市場への展開といった技術革新について議論が展開されました。

上海ファナック（Shanghai FANUC）工場公開デー | 自動化の現場を体感

9 月 23 日、Tube China は上海ファナックと連携し、来場者が最先端の自動化技術やスマートマニュファクチャリング（知能化生産）を実際に体験できる機会を提供しました。「エコシステムの連携・リソースの共有・Win-Win のパートナーシップ」をテーマに掲げた「Factory Open Day」では、展示会を訪れた専門家や業界関係者を上海ファナック（Shanghai FANUC）の第 3 期スマートファクトリーへご案内しました。参加者は「スマートマニュファクチャリング展示センター」を見学し、同社の最新の取り組みに関するプレゼンテーションに参加しました。

次回の開催は、2028 年 9 月 25 日～28 日、再び上海で開催予定です。

本件のニュースリリース（英語オリジナル）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Messe Düsseldorf (Shanghai) Co., Ltd. / Ms. Huang vivian.huang@mds.cn

Ms. Shi charlotte.shi@mds.cn

【日本でのお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：秋庭

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp